

研究計画書

ゼミ名	永廣ゼミⅡ	チーム名	永廣 BANK
タイトル	銀行における人員削減は本当に必要なのか		
テーマ群	b)財政・金融 c)公共経済		
メンバー			
研究計画内容	<p>【研究の背景】</p> <p>近年、金融業界の既存業務の削減をニュースで聞くようになった。2017年には、三菱東京 UFJ 銀行で約 4 万人のうち約 8000 人、三井住友銀行で約 6 万人のうち約 1 万 9 千人、みずほ銀行で約 5 万人のうち約 4000 人を人員削減している。実際に近くの銀行でも銀行員が少ないと感じたので、現在の銀行業務の実態について研究しようと思い、このテーマを選定した。</p> <p>【研究内容・目的】</p> <p>本研究では、銀行における人員削減の実態を調査しながら、銀行での人員削減の妥当性について、銀行側からの視点に加え、利用者・顧客側からの視点を踏まえて検討する。</p> <p>その際、銀行業務の効率性を示す指標である OHR（＝営業経費÷業務粗利益）を用い AI がどのように活用され、それにより銀行業務がどの程度効率化されているのかについて分析する。</p> <p>また、新型コロナウイルスの影響で銀行の収益がどれくらい減少し、それが人員削減にどのように影響しているのかについて考察する。あわせて、菅政権に交代したことで地方銀行の再編がクローズアップされていることから、地方銀行の再編が人員削減にどのような影響を与えるのかということについても考察する。</p> <p>【期待される効果】</p> <p>銀行における人員削減については、これまでは主に AI による銀行業務の効率化の視点から考察されてきたが、本研究では、新型コロナウイルスの影響による銀行の収益減少、新政権の下での地方銀行の再編問題の視点も加えて考察を行うことで、現在、各銀行が進めている人員削減が、今後本当に正しい選択肢であるのかどうかを明らかにできると考える。</p>		